

# アベ政治にお別れしよう

## 総選挙公示→10月22日投票

### 改憲大連合=NO!

### YES=市民と立憲野党

10月10日に衆議院総選挙が公示され、10月22日の投票日まで日本の岐路となるたたかいは始まりました。

今回の総選挙は、「森友」「加計」の疑惑隠しのために冒頭解散という憲法違反の暴挙をおこない、憲法改悪をねらう安倍政権への審判を下すチャンスです。選挙直前にできた「希望の党」は安保法制（戦争法）賛成と改憲賛成を踏み絵にした自公政権の補完勢力だということが日に日に明らかになっています。これらの「改憲大連合」にNO!を突き付け、市民と立憲野党の勝利をめざしましょう。

### 市民と立憲野党の統一候補

### 12人に「支援決定通知書」

道本部は、今回の総選挙で市民と立憲野党の統一候補となった12人の候補者に「支援決定通知書」(=右)を送りました。

衆議院北海道〇区

市民と立憲野党の統一候補

〇 〇 〇 〇 様

2017年10月10日

全日本建設交運一般労働組合北海道本部

執行委員長 森 國 敬

## 支援決定通知書

全日本建設交運一般労働組合（建交労）北海道本部は、第18回定期大会の決定にもとづき、10月5日に「戦争させない市民の風・北海道」、立憲民主党北海道、日本共産党北海道委員会、社会民主党北海道連合の4者による「政策協定並びに選挙協力」の協定書が結ばれたことを受け、衆議院北海道〇区の「市民と立憲野党」の統一候補として〇〇〇〇氏の支援を決定しましたので、ここに決定通知書を送付します。

協定書にある「安保法制の廃止、共謀罪法の廃止をめざす」「立憲主義と民主主義の回復をめざす」「憲法9条の改定に反対する」のために、3党と「戦争させない市民の風・北海道」をはじめ広範な団体・市民とともに全力を尽くして、衆議院選挙におけるすべての小選挙区での勝利をめざし、私たちともに奮闘します。

以 上

## STOP再稼働！さようなら原発北海道集会

10月7日、札幌で「STOP再稼働！さようなら原発北海道集会」が開かれ、2,500人が参加して「泊原発の廃炉」「原発ゼロ」をめざしてさらに世論と運動をひろげることを確認しました。北大名誉教授の小野有五さん、北海道がんセンター名誉院長の西尾正道さん、北海道生協連会長の麻田信二さんなどが「北海道の電力には余裕があり、原発はいらない」「原発は稼働していなくても人体に被害が及ぶ」と発言し、参加者は「自然とともに生きるなら原子力なんていらない」のボードを掲げて原発のない北海道への決意を示しました。このあと札幌市内をデモ行進して市民に訴えました。